

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和103年02月08日

計画の名称	広島県港湾海岸における高潮・津波対策の推進（防災・安全）															
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	広島県, 東広島市															
計画の目標	台風・南海トラフ巨大地震などの災害に備え、特に高潮・津波の被害が懸念される広島沿岸において、社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的、総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		2,397	A	2,397	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度当初		令和6年度末
1	防護達成面積を800ha（R2）から898ha（R6）へ引き上げる。（重点計画分を含む）			
	防護達成面積	800ha	ha	898ha
	防護達成面積＝防護面積×（対策完了延長／要対策延長）			
2	防護達成人口を40,120人（R2）から44,600人（R6）へ引き上げる。（重点計画分を含む）			
	防護達成人口	40120人	人	44600人
	防災達成人口＝防災人口×（対策完了延長／要対策延長）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
広島県強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：すべて												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-001	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	土生港海岸	護岸（改良）L=100m	尾道市	■	■	■	■	■	120	—	
	A09-002	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	鹿川港海岸	護岸（改良）L=170m	江田島市	■	■	■	■	■	170	—	
	A09-003	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	大竹港海岸	護岸（改良）L=440m	大竹市	■	■	■	■	■	390	—	
	A09-004	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	蒲刈港海岸	護岸（改良）L=200m	呉市	■	■	■	■	■	210	—	
	A09-005	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	御手洗港海岸	護岸（改良）L=100m 他	呉市	■	■	■	■	■	420	—	
	A09-006	海岸	離島	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	鯉崎港海岸	護岸（改良）L=200m	大崎上島町	■	■	■	■	■	150	—	
	A09-007	海岸	離島	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	木江港海岸	護岸（改良）L=100m	大崎上島町	■	■	■	■	■	150	—	
	A09-008	海岸	離島	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	大西港海岸	護岸（改良）L=190m 他	大崎上島町	■	■	■	■	■	210	—	
	A09-009	海岸	一般	東広島市	直接	東広島市	高潮	港湾	安芸津港海岸	護岸（改良）L=270m 他	東広島市	■	■	■	■	■	487	—	

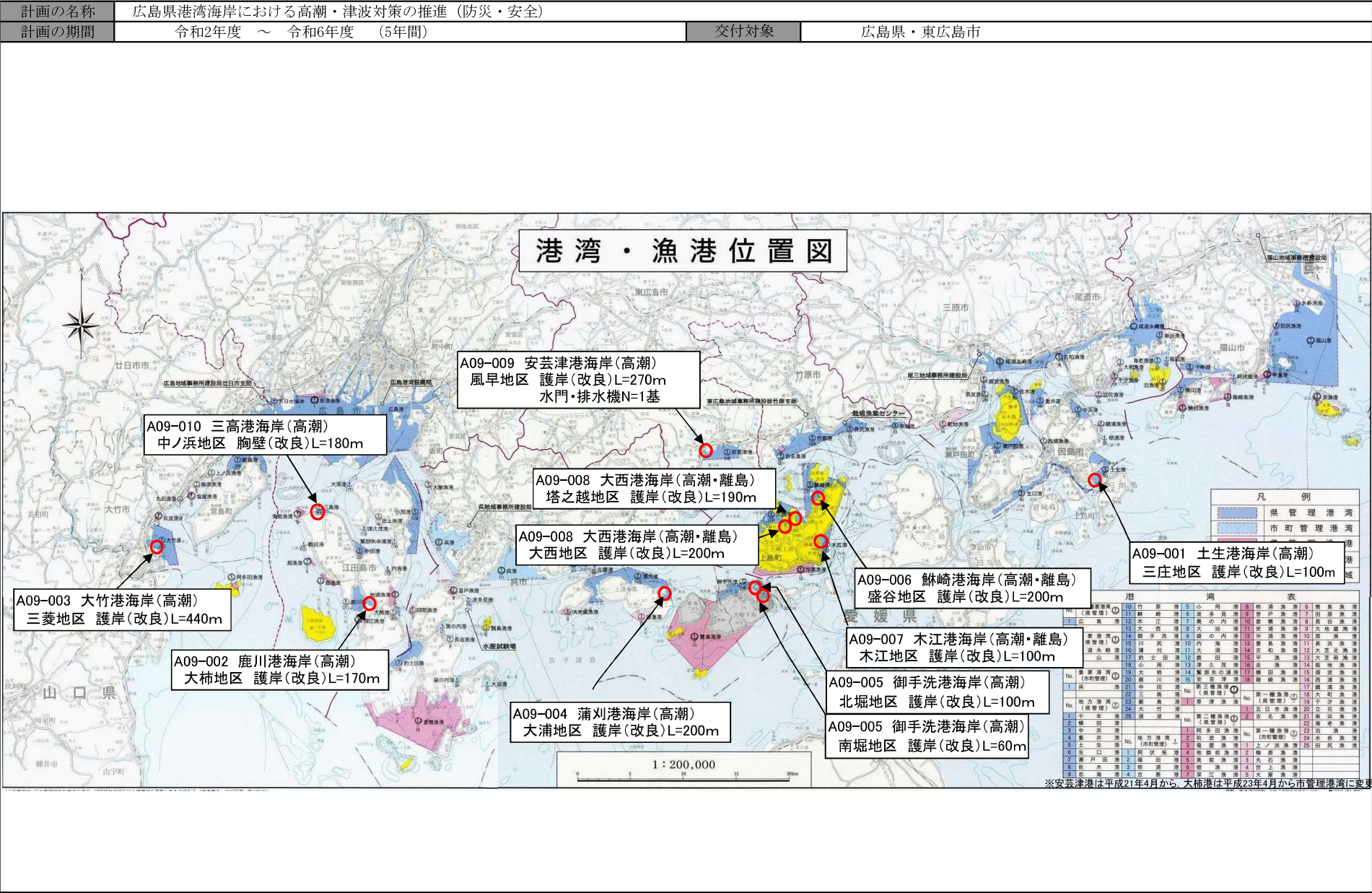
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-010	海岸	一般	広島県	直接	広島県	高潮	港湾	三高港海岸	胸壁（改良）L=180m	江田島市			■	■	■	90	－	
											小計						2,397		
											合計						2,397		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	193	194	230	210	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	193	194	230	210	
前年度からの繰越額 (d)	0	173	179	266	
支払済額 (e)	20	188	143	332	
翌年度繰越額 (f)	173	179	266	144	
うち未契約繰越額(g)	110	129	78	109	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	56.99	35.14	19.07	22.89	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	平成30年7月豪雨災害への対応及び新型コロナにより関係機関等との調整に時間を要したことによる	平成30年7月豪雨災害への対応及び新型コロナにより関係機関等との調整に時間を要したことによる	平成30年7月豪雨災害への対応及び新型コロナにより関係機関等との調整に時間を要したことによる	地元や関係機関等との調整に時間を要したことによる	

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 広島県港湾海岸における高潮・津波対策の推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性（計画の目標が海岸保全基本計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（計画の目標が過去の災害や切迫する災害に伴う被害の防止・軽減、環境整備といった地域の課題に適切に対応するものとなっている。）	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等（事業内容は、計画の目標を達成する有効な手段となっている。）	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（【1】事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。）	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（【2】隣接する海岸と整合した整備が行われている。（又は整備予定））	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（【1】住民等の合意形成が整っている。）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（【1】海岸事業の実施に向けた機運が高い。）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（【2】ハード整備とあわせてハザードマップの作成、防災訓練などソフト施策を実施。（又は実施予定））	○